

発がん性試験結果の評価について(平成25年度・その2)

労働安全衛生法第57条の5の規定に基づき国が委託実施した発がん性試験の結果について、「平成25年度化学物質のリスク評価検討会」の「有害性評価小検討会」において、4 - *tert* - ブチルカテコールのラット・マウスを用いた混餌経口投与による発がん性試験結果の検討を行ったところ、評価結果は次のとおりである。

平成25年12月6日開催の第2回有害性評価小検討会において評価を行った。

4 - *tert* - ブチルカテコールは、ラットの雌雄及びマウスの雄に対して発がん性が認められると評価された。一方、マウスの雌に対する発がん性は認められないと評価された。

また、4 - *tert* - ブチルカテコールの遺伝毒性については、様々な試験が実施され、その結果が陽性のものと陰性のものがあり、変異原性の有無は判断できないとされた。

なお、ラット雌雄及びマウス雄において、腫瘍の有意な発生増加が認められたことと、4 - *tert* - ブチルカテコールは遺伝毒性があるとされる試験結果が出ていることから、安全側を考慮し、健康障害を防止するための指針(がん原性指針)の対象とすべきとされた。